招待演奏者

藤原 義章　指揮、音楽監督

東京都交響楽団創立団員。新日本フィル首席ヴィオラ奏者、富士川町ますほ文化会館音楽監督、東京エレクトロン韮崎文化ホール館長歴任。著書に「リズムはゆらぐ」「美しい演奏の科学」「音楽の生涯学習」など。

川口 聖加　ソプラノ、合唱指導

新潟大学大学院修了。オランダ王立音楽院（声楽科）卒業。仏独歌曲、バロック声楽曲、宗教曲、オペラ、現代曲など幅広いレパートリーを持ち、国内外で演奏活動を行う。CD「リラの花咲くころ」をリリース。

蜷川 いづみ　コンサートミストレス

桐朋学園女子高校を経て桐朋学園大学卒業。同研究科修了。エコール・ノルマル音楽院（パリ）で高等演奏家資格を満場一致の首席で取得（審査委員賞）。新日本フィル団員を経て東京ユニバーサルフィル管弦楽団コンサートミストレスを務める。現在、ソロ及び室内楽を中心に国内外において活躍。ソロアルバム「泉のほとり」は「レコード芸術」で絶賛される。モーツァルトアンサンブルオーケストラのゲスト・コンサートミストレス。ユーオーディア・アカデミー講師。

佐藤 茜　ヴァイオリン

ドイツにて6歳よりヴァイオリンを始める。帰国後、斉藤久美、中山朋子に師事。桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院に奨学金を得て留学し、ニコラス・ミラー、ダイアナ・カミングスに師事。音楽院内で多数受賞。現在、「カルテット・カノーロ」「アンサンブル・ロカ」、独奏、オーケストラなどで活躍中。

福波 典子　ヴァイオリン

武蔵野音楽大学卒業。同大大学院修了。東京フェスティバルオーケストラ・コンサートミストレスを経て、現在フリーランサー。国際会議コンサート、室内楽、オーケストラ、録音などで活躍。長谷川孝一、井上武雄、日高 毅、F. リヒネフスキー、L. グレーラー、G.フェイギンに師事。筑波大学付属盲学校音楽課程講師を経て、武蔵野音楽学園講師。

光行 澄子　ヴィオラ

武蔵野音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。浅妻文樹に師事。渡米、ミルトン・トーマスに師事。帰国後、東京ゾリステン入団。現在はフリーで室内楽、オーケストラで活躍。「 アンサンブル・クライス」「ジャパン・シンフォニア」のメンバー。

谷口 節夫　チェロ

東京芸術大学卒業。清水勝雄、堀江 泰、レーヌ・フラショ、青木十良に師事。NHK・FM「午後のリサイタル」に、チェロ・アンサンブル、フルート・トリオで出演。現在、フリーランサーとして室内楽、オーケストラ、弦楽四重奏団「カメラータ・フロイデ」等で活躍中。恵泉女学園非常勤講師。

井上 陽　コントラバス

国立音楽大学卒業。コントラバスを西澤誠治、永島義男、池松 宏の各氏に師事。国立音楽大学オーケストラ演奏員を務め、オーケストラ、室内楽、吹奏楽, 古楽器、レコーディングなど多方面で活躍中。

駒井 朗　コントラバス

国立音楽大学卒業。コントラバスを池松宏、村松裕子、溝入敬三の各氏に師事。ゲイリー・カーのサマーキャンプ（カナダ）に参加。ダンカン・マクティアのマスターコース（スイス）を受講。現在国立音楽大学嘱託演奏員、洗足学園ニューフィルハーモニック団員、相模原音楽家連盟会員。

山田 滋　フルート

「笛吹き」／フルート・リコーダー奏者。東京学芸大学音楽科卒業。フルートを新井美代子、小泉剛、三村園子各氏に師事。大学卒業と同時に東京リコーダー協会でリコーダーの演奏法および指導法を研究。その後フリーの「笛吹き」として各地で活動を始め現在に至る。アンサンブル・レジェ（木管五重奏）、CAFE(フルートアンサンブル)、笛吹き２１（に・いち）（縦・横・大・小の笛と鍵盤楽器によるアンサンブル）所属。現在は各地での講演、演奏活動と後進の指導にあたっている。

今西 香菜子　オーボエ

13歳よりオーボエを始め、畑中正子、本間正史、柴山洋に師事。またバロックオーボエを本間正史に師事。若尾圭介、リチャード・ウッドハムス、ジョナサン・ケリー等のマスタークラスを受講。桐朋学園大学及び同大学研究科修了。現在フリー奏者。

柳沼 和幸　トランペット

武蔵野音楽大学音楽学部・器楽学科トランペット専攻卒業。2000年、ドイツ国立ベルリン芸術大学・大学院トランペット専攻入学し元ベルリンフィル首席奏者コンラディン・グロート教授の下で研鑽を積む。2002年ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでドイツ国内のゲルリッツ州立歌劇場、ハレ歌劇場、エルブランド室内管弦楽団、コトブス歌劇場、ノイ・ブランデンブルグ管弦楽団他、山形交響楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団などに賛助出演。トランペットを五十嵐栄則、福井功、コンラディン・グロート各氏に師事。現在、関東を拠点にフリー奏者として活動中。

奥山 初枝　ピアノ

桐朋学園芸術短期大学・研究科修了。ピアノを新井 精、林 秀光に師事。和声学を師事した山田 泉の作品演奏により、平成９年山梨県芸術祭最高位・水上財団賞受賞。邦人作品演奏研究会、放送等に出演。多方面でソリスト・合唱団体と共演を重ね、CD制作等に参加している。桐朋学園女子部講師。日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会オルガニスト。

宇佐美 延子　箏

生田流箏曲宮城社大師範。塚越清子氏に師事。宮城会・白菊会に所属。「沙羅の会」主宰。現代邦楽、洋楽器とのセッションで演奏活動。県内各所で指導。笛吹市在住。

身崎 有希子　箏・十七弦

東京芸術大学邦楽科箏曲生田流専攻卒業。生田流箏曲宮城社師範。宮城道雄記念コンクール入賞。山田ミサ氏、深海さとみ氏に師事。宮城会・明絃会・秀恵会・森の会・士奏会に所属。国内各地、及び国外(ドイツ、韓国)で演奏活動。東京都在住。

窪田 礼子　箏、三絃、十七絃

生田流箏曲宮城社師範。新谷喜恵子氏、新谷美年子氏、山田ミサ氏に師事。県内外、及び国外(ドイツ)で演奏活動。宮城会・明絃会に所属。「志ほの会」主宰。現代邦楽、洋楽器とのセッションで演奏活動。笛吹市在住。

岩間 龍山　尺八

都山流師範。森田柊山氏、坂田梁山氏に師事。NHK邦楽技能者育成会卒。純和風JAZZグループ「風カヲル時」メンバー。CD「H&E」「風カヲル時・壱」をリリース。ポピュラーソングコンテストにて優秀賞受賞。甲府市在住。

演奏参加者

オーケストラ　★は招待演奏者

指揮
藤原 義章

コンサートミストレス
蜷川 いづみ★

ヴァイオリン
新江 慎太郎
小野 和隆
川口 武夫
川口 由美
草野 まみ
小谷 薫
小林 瑠美
駒澤 玲子
佐藤 茜★
清水 優貴
鈴木 美代子
鈴木 洋子
中島 晶光
中津川 友子
福波 典子★
三宅 洋子
宮本 真佑子
山田 和夫
山田 百合子
吉澤 祐子

ヴィオラ
石川 八谷
大橋 光男
工藤 綾子
小林 晃子
光行 澄子★
南 彩子
森川 敬子

チェロ
青山 公彦
石田 香
奥津 佳之
梶山 智美
神成 久敏
久間 寧一
竹内 貴博
谷口 節夫 ★
内藤 和子
野呂 研次
芳賀 須磨子

コントラバス
井上 陽 ★
駒井 朗 ★
中川 奈美

フルート
小西 秀樹
長谷川 ひろみ
山田 滋★
横山 耕太郎

オーボエ
今西 香菜子★
高力 渉
村松 緑

ファゴット
配島 亮
三好 純子

クラリネット
澤田 克也
武田 勝正
永田 桂子
山際 高志

トランペット
小野塚 浩基
森山 秀一
柳沼 和幸★

ホルン
佐藤 香納
高橋 寿之
山崎 舞香
山田 博司

トロンボーン
駒澤 敏
田村 哲哉
中野 友貴

ティンパニ
内田 則彦

打楽器
青柳 桃
内田 美沙子

ピアノ
奥山 初枝★

合唱

合唱指導
川口 聖加

練習ピアニスト
平井 沙苗

ソプラノ
雨宮 百合子
植松 文香
尾上 みほか
神成 たか子
興石 三香子
小林 明美
小林 茂美
塩島 弘子
宿澤 尚子
原 未央
深澤 久美
吉田 佐代
渡辺 文江
渡邉 むつみ

アルト
麻生 由紀子
雨宮 恵子
安藤 ゆき江
岩波 昌子
大柴 このみ
小尾 和子
梶田 扶美
桐原 花子
近藤 泰子
中山 あけみ
服部 千鶴子
山田 美樹

テノール
遠藤 正文
坂口 博幸
宿澤 公夫
山下 喜芳

バス
志村 一夫
山田 哲也

邦楽

箏
宇佐美 延子

箏、十七絃
身崎 有希子

箏、三絃、十七絃
窪田 礼子

尺八
岩間 龍山

運営委員会

運営委員長　窪田 礼子
運営副委員長　鈴木 美代子
運営委員　大沢 静子／大橋 光男／川口 聖加／窪田 さやか
小林 晃子／小林 瑠美／鈴木 直子／土屋 英俊／土屋 雄一
内藤 和子／中川 奈美／中津川 友子／深田 恵美子
松上 一平／山下 繁／山田 和夫

来年のご案内

第6回 笛吹音楽祭
2013年9月14日（土）～16日（月・祝）
笛吹市スコレーセンター

◇ブラームス：交響曲第２番
◇モーツァルト：オペラ「魔笛」より
◇ブラームス：ハンガリー舞曲 第５番・６番　他予定

FUEFUKI MUSIC FESTIVAL 2012

演奏する人と聴く人がともに楽しむ集い

第5回 笛吹音楽祭
2012.11.23 － 11.25
笛吹市スコレーセンター

主 催：笛吹音楽祭運営委員会
後 援：山梨県／山梨県教育委員会／笛吹市／笛吹市教育委員会／（公財）ふえふき文化・スポーツ振興財団
助 成：笛吹市地域振興促進助成事業
協 賛：秋山(株)／雨宮自動車興業(株)／アルプスワイン(株)／石和園芸／（医）石和温泉病院／石和温泉旅館協同組合／(株)石和青果市場／泉山荘
いろは会／岩野(株)／(株)エスワイ精機／(株)大沢商店／(株)小野石材店／春日居サーバーナイフ・リハビリ病院／カモシタ／(株)桔梗屋
協和電気(株)／甲府信用金庫石和支店／甲府信用金庫笛吹支店／(株)小林リース／(株)小山電気／(株)沢田屋薬局／(株)三和リース／(株)ジインズ
(株)シップス／(株)神宮司測量／(株)鈴木デンソー／(株)せんたくクラブ／タナカ設備(有)／(株)田丸／東八商事(有)／時計・メガネのすすき
長坂整形外科医院／ねんきん倶楽部／(株)バイオテックス／早川運輸(有)／日之出観光自動車(株)／笛吹中央病院／笛吹農業協同組合
笛吹ワイン(株)／富岳物産(株)／(株)古屋工業／本坊醸造(株)山梨マルスワイナリー／(株)御坂農園グレープハウス／(株)見晴し園
モンデ酒造(株)／山梨中央交通(株)／山梨信用金庫石和支店／山梨信用金庫石和南支店／(株)山梨中央銀行石和支店／山梨フードサービス(株)
山梨水処理技研(株)／(有)ワカバ若葉屋
雨宮 広和／うつわ・茶　鈴木／建築 野澤／小林 克彦／佐藤 憲

音楽監督
藤原 義章

音楽は感じるもの

この夏、パラリンピックが、発祥国のイギリスでオリンピックと共に開催されました。テレビで観た凱旋パレードは、オリンピック選手といっしょに応えるさわかな光景が印象に残っています。

そのイギリスは、耳(聴力)が全く聞こえない世界的打楽器奏者“デイム”エヴェリン・グレニーを育てました。彼女の音楽への強い情熱と才能は「音が聞こえなければ音楽家になれるはずがない」という固定概念や偏見を改めさせ、英国王立音楽院に入学しました。今は「音楽はただ聴くものではなく、感じるもの」と、人間の五感の威力を説きながら活躍しています。

演奏会場にある『形状や大きさ』『色や明るさ』『湿度や温度』『音響や設備』『匂いや触感』は、演奏や享受に影響しています。音楽は、聴覚以外の「五感」でも享受するからです。

オーケストラや合奏は『発音原理』『音域』『強弱域』『音色』『表現域』という「音感」を異にする楽器の『個性人』たちが集まってひとつの音楽をつくります。指揮者のおもな役割は、それぞれの奏者が合わせるための、『時間進行』という基礎リズムを示すことです。基礎リズムを造形芸術に置き換えてみると、彫刻や写真、デッサン、墨絵というモノクロームのかたち。いずれも、色彩がなくても感動を与える芸術力があります。聴く人は、音楽における時間のかたちや構図を空気などの波動によって、全身で受けとめています。

笛吹音楽祭では、耳(聴覚)の不自由な方々をご招待して、コンサートの雰囲気や音楽リズムを感じていただきます。イギリスのスポーツや芸術の文化に憧れつつ……

笛吹音楽祭 運営委員長
窪田 礼子

「第5回 笛吹音楽祭」へようこそ

本日はお忙しい中、お越し下さいましてありがとうございます。

この音楽祭も第5回目の開催を迎える事が出来ました。これもひとえに関係者の皆様のご支援、ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。この音楽祭は「音楽にプロ・アマチュアの違いはない」「演奏の参加資格は一切問わない」の基本理念のもとに、演奏する人と聴く人が笛吹の地に集まり、純粋に音楽を楽しむ事をテーマに開催されます。

開催初日の「アンサンブルコンサート」では箏、尺八の和楽器の演奏と、コントラバスを主体としたアンサンブル曲の演奏の2ステージ、最終日には「オーケストラコンサート~合唱」が催され、まさに和・洋一体となって楽しめる音楽祭となっています。心ゆくまでお楽しみください。

アンサンブル・コンサート　11/23(金・祝) 13:00　▶ホール

第１部 プログラム

瀬　音：宮城道雄

光と影：吉崎克彦

古曲「吼噦(こんかい)」

かごめの主題による箏四重奏曲：吉崎克彦

出演者

箏：宇佐美 延子

箏・十七弦：身崎 有希子

箏・三絃・十七弦：窪田 礼子

尺八：岩間 龍山

第２部 プログラム

ソナタ：ヘンデル (1685−1759)
バロック時代を代表する作曲家の一人であるヘンデルの作品で元々はヴィオラ・ダ・ガンバの為に書かれた作品です。今日はその中から第1、2、4楽章を演奏します。

ヴァイオリンとヴィオラ、コントラバスの三重奏曲：ヴァンハル (1739−1813)
ヴァンハルはボヘミアで生まれウィーンで活躍した作曲家です。当時、ハイドンに次いで人気があり(モーツァルトよりも！)交響曲や四重奏曲はヨーロッパ中に知れ渡っていました。また、彼のコントラバス協奏曲は現代においても重要なレパートリーとなっています。この三重奏曲は全五曲から成り、本日はそのうち四曲を抜粋して演奏します。

タンゴ：ピアソラ (1921−1992)
今年で没後二十年を迎えたピアソラ。フランス留学後それまでのタンゴの常識を覆すような演奏活動を行いました。そのセンチメンタルなメロディは日本人の私達の心にも響きます。「さよならも言わずに」「同じ苦痛」「さよなら父さん(アディオス・ノニーノ)」と哀愁漂うタイトルの三曲をヴァイオリンとヴィオラの二重奏で演奏します。

チェロとコントラバスの二重奏曲：ロッシーニ (1792−1868)
この作品はある富豪のアマチュアチェリストが当時のコントラバスの名手ドラゴネッティと共演する為に依頼され書かれた曲で、現在はコントラバスの重要なレパートリーの一つです。オペラで有名な彼の作品らしくまさにイタリアンベルカントという作品です。

パッショーネ アモローサ：ボッテジーニ (1821−1889)
ジョヴァンニ・ボッテジーニはその卓越した演奏技術と様々な新しい奏法を開発した事で「コントラバスのパガニーニ」とも呼ばれていたコントラバス奏者です。作曲家としてもそれまでにオリジナル作品の少なかったコントラバスの為に沢山の曲を残しました。パッショーネアモローサもその中の一曲で2台のコントラバスが技巧を駆使しながら競いあうかのように歌います。

出演者

ヴァイオリン：佐藤 茜

ヴィオラ：光行 澄子

チェロ：谷口 節夫

コントラバス：井上 陽、駒井 朗

ピアノ：奥山 初枝

ロビー・コンサート　11/23(金・祝) 17:00　11/24(土) 12:00・17:00　11/25(日) 13:00　▶ロビー

参加者の自由な発表の場

和太鼓演奏　11/25(日) 12:30　▶エントランス前広場

笛吹市太鼓連合

絵画展示　音楽祭期間中常時展示　▶ロビー

笛吹市文化協会絵画部

オーケストラ・コンサート　11/25(日) 14:00　▶ホール

プログラム

交響詩「フィンランディア」：シベリウス

アヴェ・ヴェルム・コルプス：モーツァルト

ラシーヌ讃歌：フォーレ

オラトリオ「天地創造」第28曲：ハイドン

―― 休　憩 ――

交響曲第四番：ブラームス

出演者

指揮：藤原義章

管弦楽：笛吹音楽祭オーケストラ

合唱：笛吹音楽祭合唱団

曲紹介

交響詩 フィンランディア 作品26 …… シベリウス

フィンランディア (Finlandia) 作品26は、フィンランドの作曲家ジャン・シベリウスによって作曲された交響詩。シベリウスの作品の中でもっとも知名度が高い作品です。当初の作品管弦楽組曲「フィンランドは目覚める」が作曲された1899年当時(1900年に改訂され第8曲「フィンランディア」は独立した交響詩となった)フィンランドは帝政ロシアの圧政に苦しめられており、独立運動が起こっていました。曲はシリアスな序奏で始まり主部は闘争的な勇壮の音楽になります。中間部は、後に歌詞がつけられ「フィンランド賛歌」となる美しい旋律になり最後は勝利感に満ちて終わります。フィンランドへの愛国心を沸き起こすとして帝政ロシア政府がこの曲を演奏禁止処分にしたのは有名な話です。

モテット『アヴェ ヴェルム コルプス“ave verum corpus”「まことのお体よ」』K.618 …… モーツァルト

バーデンの合唱指揮者アントン・シュトル(Anton Stoll,1748-1805)の求めに応じて聖体祭のミサのために1791年6月半ばに書かれました。療養中の妻コンスタンツェの世話を親身にみてくれたシュトルへの感謝を込めたとされる作品です。1791年といえばモーツァルトの没年。約半年後の12月5日午前0時55分にはモーツァルトはこの世を去ってしまうのです。音楽は非常に簡潔、たった46小節3分半の“アヴェ ヴェルム コルプス”は濃密かつ透明、単純かつ微妙、深さと高さ・・こういう音楽の前には、つくづく言葉は無力だと思われます。まさにモーツァルト最晩年(といっても35歳)の珠玉の名品というべきでしょう。多くの人が自分の葬儀の時に流して欲しい、あるいはこれを聞きながら臨終をむかえたいと思っている音楽です。

ラシーヌ讃歌(ラシーヌの雅歌)作品11 “Cantique de Jean Racine” Op.11 …… フォーレ

フランスの作曲家ガブリエル・フォーレが、17世紀フランスの古典劇作家ジャン・ラシーヌの宗教的な詩に基づいて作曲した、オルガン、あるいはハーモニウムと混声四部合唱のための合唱曲です。(後に合唱とオーケストラのための版ができました)作曲者18歳の時、古典宗教音楽学校の卒業作品として作曲され、作曲部門一等賞を得てフォーレは卒業しました。極めて美しい音楽で、これまた多くの人が自分の臨終のときに聞くことを希望する曲だということです。

オラトリオ「天地創造」から第28曲 合唱曲「大いなる御業は成りぬ」 …… ハイドン

オラトリオ「天地創造」はヨーゼフ・ハイドン音楽の総決算であり最高傑作。全曲演奏に1時間40分を要する旧約聖書「創世記」を主題とした宗教曲です。全体は三部構成で第一部は混沌から天地創造第1日、第2日、第3日、第4日、第二部は第5日と第6日、第三部は「楽園でのアダムとエヴァ」となっています。第28曲「大いなる御業は成りぬ」は第二部の最後に置かれた、オーケストラとともに演奏する壮大な合唱曲です。ヘンデルのハレルヤコーラスがハイドンの念頭にあったといわれています。
歌詞は

Vollendet ist das große Werk,
　　大いなる業が果たされた、
Des Herren Lob sei unser Lied!
　　我らの歌で主を讃美しよう！
Alles lobe seinen Namen,
　　すべてのものは主の名を賛美せよ、
Denn er allein ist hoch erhaben!
　　ただ主のみが高きところにおられるのだから！
Alleluja! Alleluja!
　　アレルヤ！アレルヤ！

交響曲第四番 ホ短調 作品98 …… ブラームス

ドイツロマン派の大作曲家ブラームスは生涯に4曲の交響曲を作曲しました。4曲とも彼の代表作であり、交響曲ジャンルでのすばらしい傑作、世界中で盛んに演奏される名曲となっています。ブラームスという人は青年時代から成熟した完成度の高い音楽を書く人でしたが、この第四交響曲は更に老成した古風で哀切なたたずまいで、さながら「人生の秋」を感じさせる音楽です。第一楽章は哀愁を帯びた「ため息のモティーフ」一度聞いたら絶対に忘れられない第一主題、管楽器の力強い動機に導かれチェロで歌われる堂々とした情熱的な第二主題、とても印象的な楽章です。最後はティンパニの連打とともに悲劇的に終わります。第二楽章はホ長調で書かれているのにちょっと短調のように聞こえるフリギア旋法(教会旋法)を使ったロマンス風楽章、緩徐楽章にあたります。第三楽章は溢れる歓喜の気分のスケルツオ楽章、トライアングルが大活躍です。第四楽章はブラームスが最高の秘術をつくして構築した巨大な変奏曲です。1897年4月64歳で亡くなる死の床で、ある人の質問に答えて「何、私の作品の中でどの曲が好きだって？そりゃ最後に聴いた作品さ・・・」彼がその1ヶ月前最後に聴いたのはウィーンフィルハーモニカーの演奏会で演奏された第四交響曲でした。

(Va.大橋光男)